

特集

基礎看護学を再構成する・2 看護の「基礎」を教えるために知っておくこと

「基礎看護学」において、初めて看護に接する学生に伝えることとは？ 水戸優子

【座談会】領域別看護から逆算した「基礎」看護 水戸優子ほか

基礎看護学教員が「本当に」やらなくてはいけないこと 水澤晴代

進学コースにおける「基礎看護」のとりえ方 藤田京子

初年次教育と基礎看護学——『看護学入門』を通して考える 上原佳子

振り返って考える「私にとっての基礎看護学」 市川陽子／土谷由美

【連載】

我らカルガモ！ 育児学生日記・2 柴田明子

現代の学生に合わせた看護学導入プログラムの開発・2 大久保暢子、伊東美奈子

看護はやっぱり面白い!? アラフォー女子大生の「看護」探求の日々・2 片山紀子

「交流」を通して教育力を高める——広島県専任教員継続研修の試み・4 高遠ひとみ、花木美百合

「書く力」でステキな看護師をつくろう・11 味木由佳

実習の経験知 育ちの支援で師は育つ・18 新納美美

Mail From USA ——『JNE』を読み、世界の看護教育の流れを知る・46 原田奈穂子

編集後記

◎編集室ツイッター <http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

●「基礎看護学」という“学問”は漠としてよくわからないなど、以前より感じていました。たとえば、ここから「学」が取れたとしても、やはりほんやりとした像しか浮かんできません。そんなもやもやした気持ちと、複数の基礎看護担当教員から耳にした「領域別看護のし寄せがくるところ」という言葉から、今回の特集は生まれました。●特集に登場していただいた錚々たる筆者にご相談したときにも「難しい」というのが第一声でしたから、なかなか再構成するところまではもっていけなかったと反省はしています。ただ、「基礎」が、川島どり先生が言われているように「ゆるがさないもの」である以上、その確立のためには、これからも常に問い直し続けていかなくてはならないと思います。そうやって「ゆるぎ」を埋めていく過程こそ、基礎看護学の再構成なのかもしれません。……大野

●看護の「基礎」と言ったとき、何と対比させて「基礎」を考えるのがよいでしょうか。対義語が「応用」だとすると、実践から独立した「知識」「理論」が連想されます。「高度」とか「上級」が対であれば「入門」「初歩」、「専門」「領域別」に対しては「一般」「統合」となりそうで、どれもそれぞれ一つではピンときません。●おそらく、段階的な発展のために大切な役割を果たすものとして、これらの要素をすべて包含するのが、いわゆる「看護の基礎」なのでしょう。多様なニュアンスがあることが議論を難しくしている一因のように思えます。●そしてもう一つこの問題を奥深くしているのが、「基礎であり究極の応用」という構造かもしれません。初学者にまず伝えたいエッセンスが、高度化された専門領域での実践において真価を発揮する。こんなところに「退屈」な基礎の面白さがある気がします。……加藤

看護教育 第54巻 第1号 2013年1月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2013, Printed in Japan

1部定価 1,470円(本体1,400円+税5%) 2012年・年間購読料(増大号を含む12冊)

冊子のみ 16,250円、冊子+電子版(個人) 19,250円、冊子+電子版(共有) 21,700円、電子版/個人 16,250円、

電子版/共有 18,800円(いずれも税込、送料弊社負担)

発行:株式会社医学書院 代表者:金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当:加藤・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY (社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつと事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/13/¥250/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

Vol.53 No.12

2012年12月
特集

“特定能力”をもつ看護師の 新たな役割とその人材育成

高齢社会の到来により患者数が増加し、医師、看護師をはじめとする医療従事者の数が不足することが懸念されています。この問題を解決するには、数少ない医療従事者で効率よく患者に対応するチーム医療の実践が欠かせません。厚生労働省もチーム医療推進のための議論に乗り出しています。なかでも看護職には職種間をつなぐキーパーソンとなることが期待され、そのための看護師業務の在り方が検討されてきました。看護師の業務範囲拡大に向けて、より高度な医療知識・技能をもち、医師の包括的指示のもとで特定の行為を行うことのできる看護師の養成について議論が進んでおり、すでに試行事業として人材の育成や業務の実施が行われています。

本特集ではまず、当初の「特定看護師（仮称）」から現在の「看護師の特定能力認証制度（案）」に至る、これまでの議論の流れを振り返り、そのうえで、養成調査試行事業として実際に養成教育を始めている藤田保健衛生大学の様子を紹介します。

- 特定行為と看護師の能力認証について——これまでの議論の整理と現状……………岩澤和子
- 看護師特定能力養成が拓くさまざまな可能性……………山田静子
- 【グループインタビュー】看護師特定能力養成調査試行事業——学生は何をどう学んでいるか……………谷田真一・下村愛・佐藤志保・田山裕介
- 育成現場からのメッセージ——藤田保健衛生大学大学院教員・学生それぞれの期待と希望と……………
- 大学進学動機（永谷ますみ）／将来の自分のイメージ（村上友悟）／実際に学び始めて感じること（山添世津子）／看護との違いと共通点（酒井博崇）／これから看護師になる学生へ（伏見直記）／やる気に満ち溢れまとまりのある学生たち（近藤一真）／急性期・周術期分野の教育（日高聡）／認証看護師のみなさんに期待すること（高木靖）／成人教育理論の実践（石原慎）



Vol.53 No.11

2012年11月
特集

「複数受け持ち」実習をより効果的に

「臨床現場により近い環境での実習を」と設けられた統合実習。そのなかで、夜間実習、管理実習と並んで取り組まれている複数受け持ち実習は、統合実習がカリキュラム化される前から、さまざまな工夫をもって取り組む学校が少なくありませんでした。しかし、夜間や管理に比較するとやりやすい実習ですが、効果を上げるには工夫が必要です。

今回は、複数受け持ち実習に関して、より興味深く、効果的な取り組みを行っている学校にその準備や経過、結果などを報告していただき、他校での一層の工夫の参考となることを期待した内容になっています。

複数受け持ち実習をより円滑に運ぶためには、今まで以上に臨床現場との綿密な連携が必要です。その連携は領域別実習にも反映されることでしょう。

- いち早く「複数受け持ち」実習に取り組んできた成果と課題……………片倉貴子
- 本校の複数受け持ち実習における教員の工夫……………鳥海朱美・廣崎道代
- ポートフォリオを活用した統合実習
看護チームの一員としての複数受け持ち実習を目指して……………杉浦暁代・新美綾子
- 受け持ち患者を増やしていく実習
総合実習「チームチャレンジ」の実際
……佐居由美・松谷美和子・大久保暢子・伊東美奈子・中村綾子・堀成美・大橋久美子・蜂ヶ崎令子・倉岡有美子・岩崎寿賀子・田中万里子
- パートナースhip・ナーシング・システムをふまえた「複数受け持ち」実習……………酒井明子



【2012年10月号 (Vol.53 No.10)】

コミュニケーション力を育む
実習前に教員としてできること

【2012年7月号 (Vol.53 No.7)】

学校をアピールする！
学生確保のためにできること

【2012年9月号 (Vol.53 No.9)】

学問としての
在宅看護論の確立へ

【2012年6月号 (Vol.53 No.6)】

地域看護学と公衆衛生看護学 Part2
保健師学生が学ぶ公衆衛生看護学再考

【2012年8月号 (Vol.53 No.8)】

教務主任養成講習会での
学びを活かす

【2012年5月号 (Vol.53 No.5)】

地域看護学と公衆衛生看護学 Part1
看護学生が学ぶ地域看護学再考

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2010年11月号(Vol. 51, No.11)以前の号は、東亜ブック(TEL.03-3985-4701, FAX 03-3985-4703, <http://www.toabook.com/>)
- 2010年12月号(Vol. 51, No.12)以降の号は、医学書院販売部(TEL.03-3817-5659)にお願いします。